

8型-S120~500

取付説明書

国土交通大臣認定取得
CAS-0321 (IBCAS-0037・0041)

当社は旧CAS-0037・0041を新たにCAS-0321として認定取得しました。

■防火設備 危害防止装置の義務づけ
建築基準法施行令 第112条 関係の改正により、新たに防火ドアの閉鎖または作動時の安全性確認が義務づけられました。

改正の概要(平成17年12月1日 国土交通省告示 第1392号)
①閉鎖作動時の運動エネルギー((1/2)MV²)が10J以下であること。
M: 防火設備の質量(Kg)
V: 防火設備の閉鎖作動時の速度(m/s)
②当該防火設備の質量が15kg以下であること。また、質量が15kgを超えるものにあつては、水平方向に閉鎖するもので閉鎖力が150N以下であること、もしくは周囲の人と接触した場合に5cm以内で停止すること。



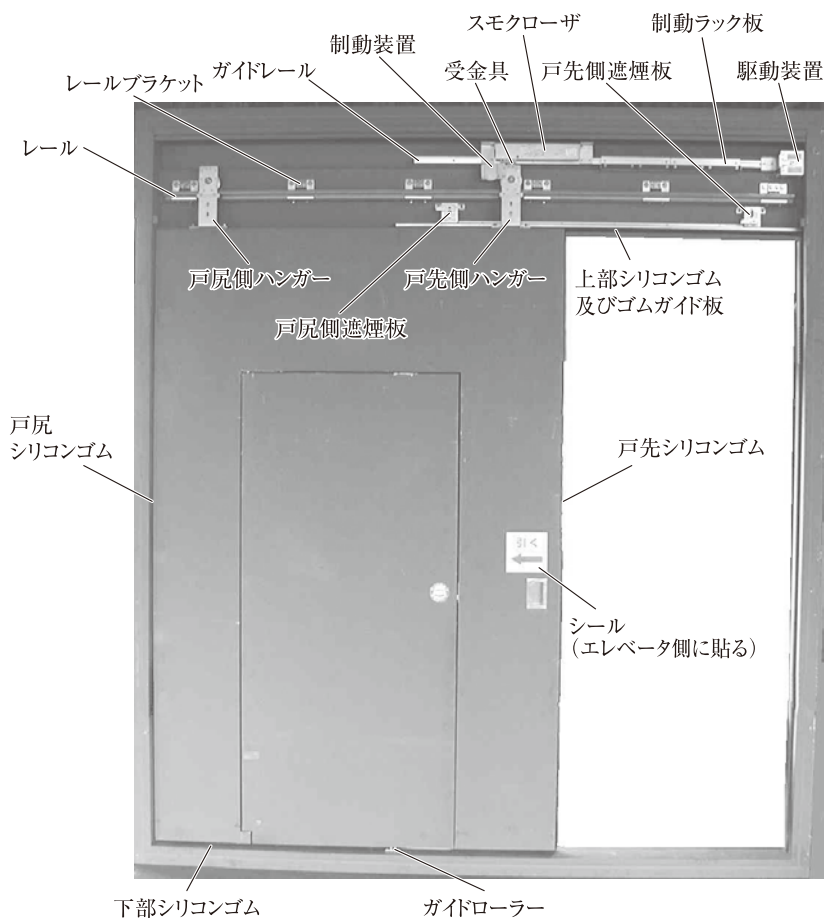
新たに義務づけられる安全性能
●運動エネルギーが10J以下であること。
●閉鎖力が150N以下であること。

弊社製品をご購入いただき有難うございます。
安全に永くご使用頂く為に、以下の取付要領をよくご理解頂き、正しくお取扱い下さい。
必ず本書の手順に従って取り付けして下さい。

この説明書に掲載されている内容は、予告無く変更することがあります。

HTMH20-1

■片引きドア 本図は左引き(戸袋収納状態)



本書取付説明書について

本書取付説明書は全て左引きで説明します。

- 右引きの取付図は左右対称となります。
- 引分けの取付は片引きドアと同じ取付手順となりますが、最後に戸当たり金具を戸先側に取付ける作業が加わります。(→手順30参照)
- 品番(下記表参照)により部品の形状に違いがありますが、取付方法は同じです。

●品番

品番	文章中の表記
8型-S120-A	重量別 S120
8型-S120-B	タイプ別 Aタイプ
8型-S200-A	Bタイプ
8型-S200-B	重量別 S200
8型-S300-A	Aタイプ
8型-S300-B	Bタイプ
8型-S500-A	重量別 S500
8型-S500-B	タイプ別 Aタイプ

●ネジセット一覧表

a	M4×10なべ小ネジ	
b	M4×6特皿小ネジ	
c	M5×10なべ小ネジ	
d	M5×12特皿小ネジ	
e	M5×16なべ小ネジ	
f	M5×12六角穴付ボルト	
g	M8×25六角ボルト(ワッシャー大)	
k	M8×25六角ボルト(ワッシャー小)	

改正112条を満たす様に取付けて下さい。

名 称	参照頁
① レールブラケット	頁2
② レール	
③ ガイドレール	
④ ガイドローラー	
⑤ 戸尻シリコンゴム	頁3
⑥ ばね引掛け金具	
⑦ ハンガー	
⑧ ハンガーライナー	頁4
⑨ 遮煙板(戸先・戸尻側)	
⑩ ゴムガイド板	
⑪ 上部シリコンゴム	頁5
⑫ 遮煙板ライナー	
⑬ 戸先シリコンゴム	
⑭ スモクローザ(L型金具の取付板2枚含む)	頁6
⑮ 裏板(段付裏板含む)	
⑯ 受金具	頁7
⑰ 制動ラック板	
⑱ 制動装置	頁8
⑲ 遮煙板ローラー	
⑳ 駆動装置	頁9
㉑ 引くシール	
㉒ 戸当たり金具(引分け時、又はオプションにて追加した場合)	

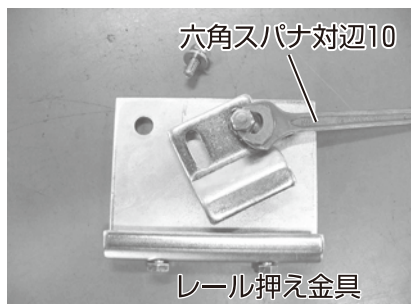
⊕ドライバー		六角スパナ対辺13	
⊖ドライバー		六角棒スパナ対辺4	
ハサミ		ものさし	
六角スパナ対辺10			

取付方法

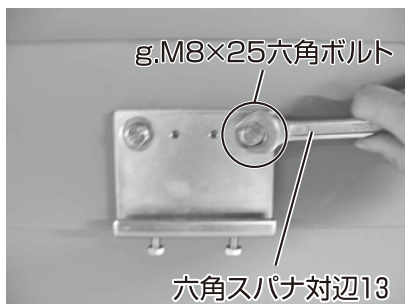
(注意)

手順1～3は方立、及び戸袋パネルを設置前に行って下さい。

1. 枠にレールブラケットとレールを取付ける。



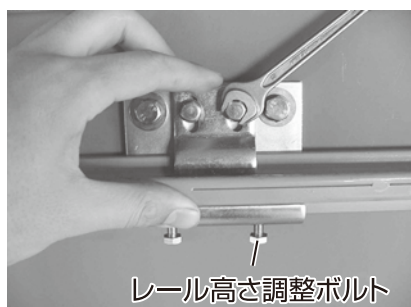
- レール押え金具を外す。



- 枠にレールブラケットを取付ける。



- レールをレールブラケットに載せる。

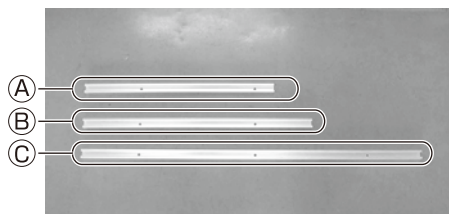


- レールの高さ調整ボルトにてレールの水平度を出す。

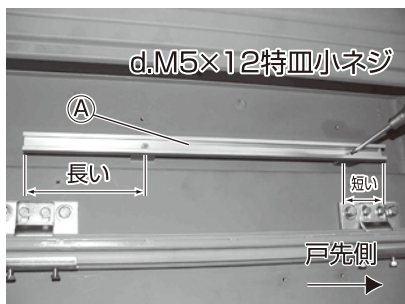
- レール押え金具を取付ける。

レールの長さは最大4.0mです。それ以上の場合は、
工場で段差のないように継ぎ合わせて（溶接付け）
ご使用下さい。
（継ぎ目：戸尻側レールブラケット中央部）

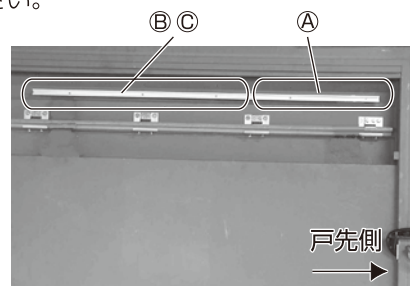
2. 枠にガイドレールを取付ける。 ※開口幅により、ガイドレールの個数が異なります。 ガイドレールは必ず水平になるように取付けて下さい。



- 開口幅により②と③が付属して
ない場合があります。



- ①を図の位置に取付ネジ穴のピ
ッチが短い方を戸先側にして取
付ける。

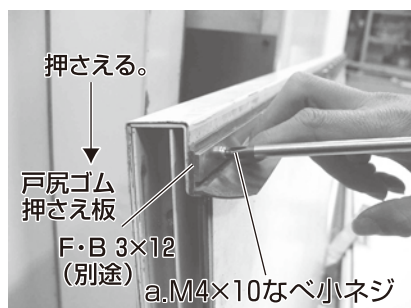


- 残りのガイドレールを取付ける。
（順序不同）

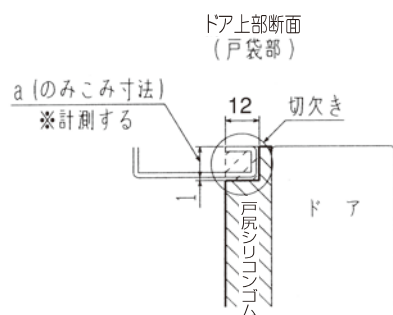
3. 枠の床面にガイドローラーを取付ける。



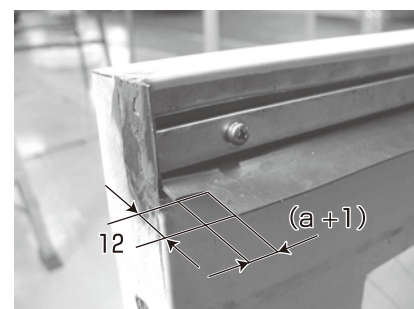
4. ドアの下部シリコンゴムがついていることを確認し、戸尻シリコンゴムを取付ける。



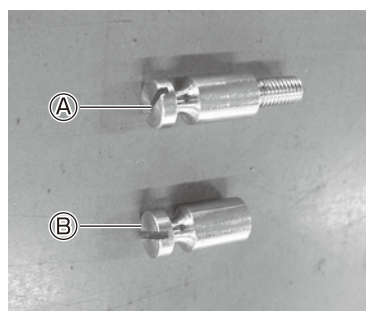
- 戸尻シリコンゴムの角とドアの段差を合わせて、戸尻ゴム押さえ板で取付ける。
- ゴムにネジ穴はあいていないので、ゴムを突き破って取付ける。



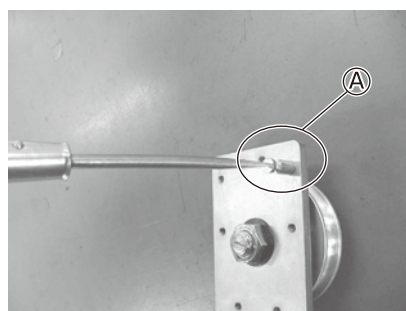
- 戸尻シリコンゴムの上部が戸袋内で接触するので、定規等でa寸法を測って(a寸法+1)mm分ゴムを切り欠いて下さい。(右図、左図)



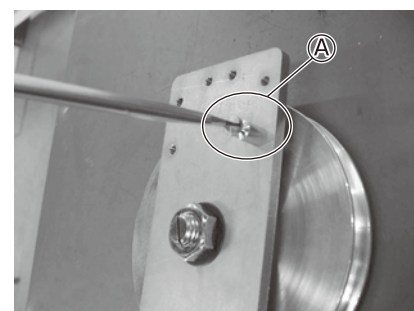
5. ハンガーにはね引掛け金具を取付ける。 ※ハンガー形状は全て同じですが、大臣認定シールが貼ってあるハンガーが戸先側となります



※B部品はS300.S500には付属してません。

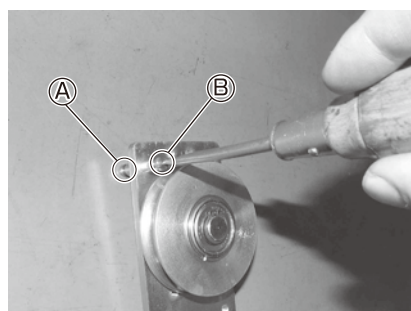


S120～300の場合



S500の場合

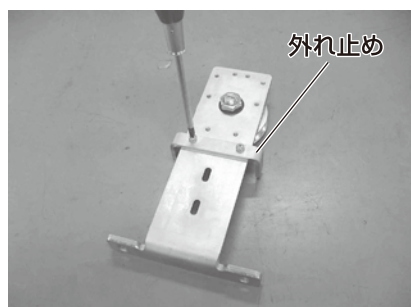
- ①部品を大臣認定シールが貼ってあるハンガーの図の位置へ取付ける。



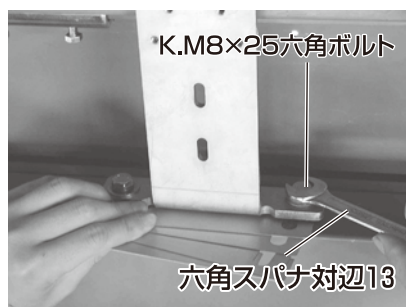
S120,200の場合

- ②部品を①部品のネジに取付ける。

6. ドアにハンガーを取付ける。 ※点検口が天井内にある場合は、ドアを吊りこみ位置にもっていきハンガーを取付けて下さい。



- 外れ止めを外す。



- ハンガーライナーをハンガー1個につき1t×2枚、0.5t×2枚をはさんで、六角ボルトで取付ける。

(注意)

5.で取付けたばね引掛け金具を取付けたハンガーを戸先側に取付けて下さい。

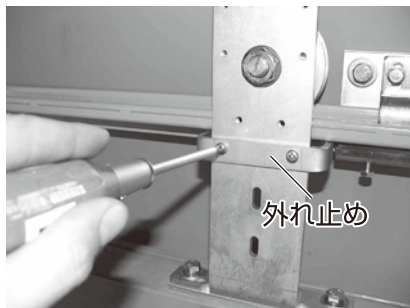
7.避難口ドアがある場合は、避難口ドアの金物を取付ける。 ※詳細はAPHの取扱説明書参照

8.ドアを吊り込む。



- ドアの下部シリコンゴムが変形しないように注意して下さい。
- ハンガーの戸車がレールに乗っていることを確認して下さい。

9.ハンガーに外れ止めを取付ける。



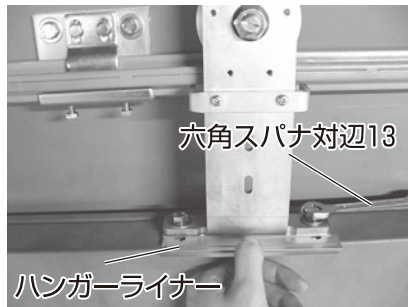
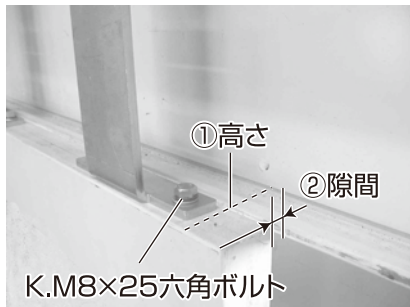
- 6で外したネジ(M5×12なべ小ネジ)を使用する。

10.避難口ドアを吊り込む。 ※詳細はAPHの取扱説明書参照



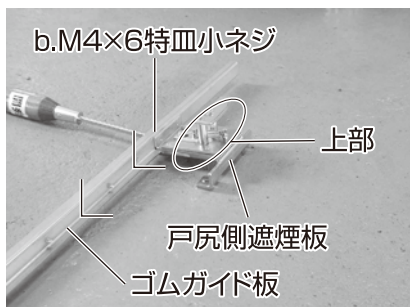
(注意)
ドアを閉じた状態で避難口ドアを
吊り込んで下さい！

11.ドアの取付調整をする。 ※ここで取付調整を行っておくと、後の作業がラクに行えます。

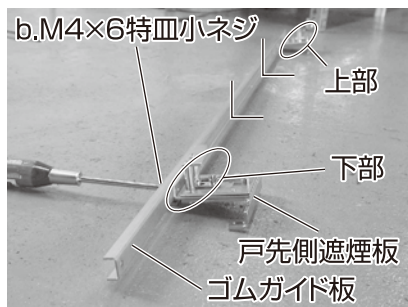


- ①高さ
ドア上面と開口上枠の面をハンガーライナーにて増減させて高さを同じにする。
- ②隙間
六角ボルトをゆるめて、ドアを前後に移動させ、隙間が約5mmになるように調整し、固定する。

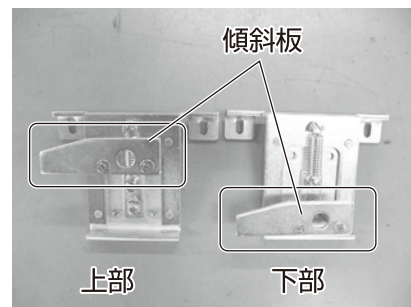
12.遮煙金具を組立てる。



- L型の方向に合わせて、向かって戸尻側に傾斜板が上部についた図の金物をネジ止めする。



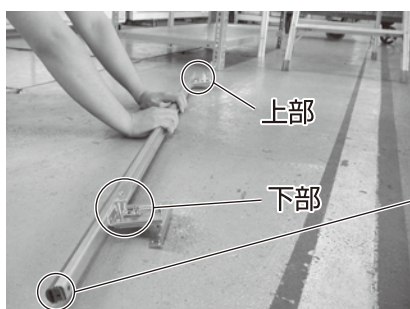
- 同様に向かって戸先側に傾斜板が下部についた図の金物をネジ止めする。



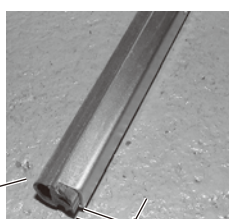
戸尻側遮煙板 戸先側遮煙板



上部シリコンゴム断面



- 傾斜板が下部についた方から約2mmゴムをはみ出させてはめ込む。

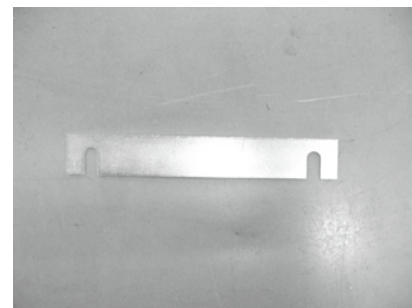
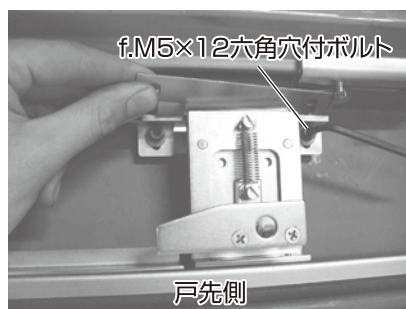
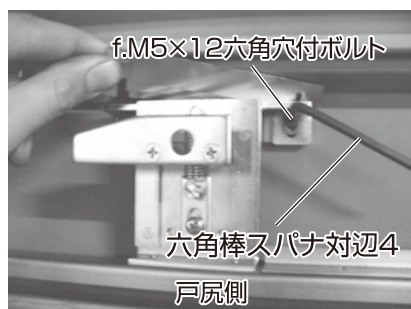


約2mm



- 余ったゴムをゴムガイド板の端に合わせて切断する。

13. 遮煙金具を取付ける。 ※ドアを開けた状態で遮煙金具を取付けて下さい。



- 遮煙板ライナーを4枚はさんで六角穴付ボルトで枠に固定する。

遮煙板ライナー

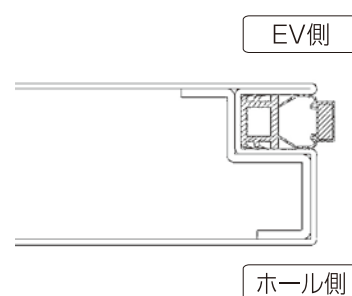
14. ドアに戸先シリコンゴムをはめ込む。



- 床面から約1mm隙間をあけて下から真ん中まではめていく。



- ドア上面の位置あたりでゴムを切断しておく。



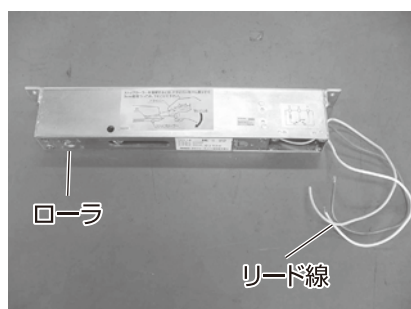
戸先シリコンゴム取付図



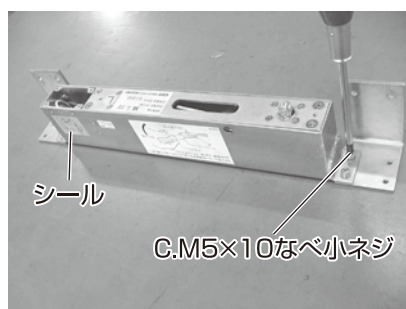
- ドア上部からはめていき、最後に中央部を押し込んで仕上げる。

(注意)
ゴムが波打たないように注意して下さい。

15. スモクローザを組み立てる。

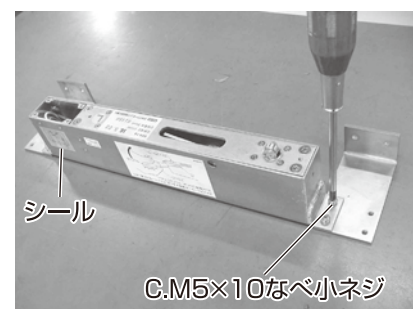


- スモクローザのリード線をローラーと反対側の穴から3本引っぱり出す。



Aタイプ

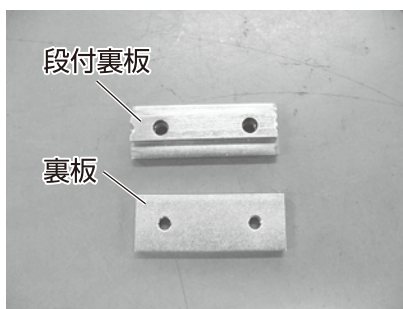
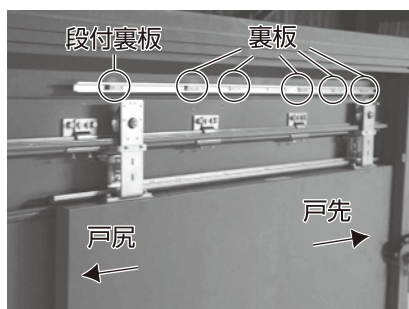
※Aタイプ、BタイプでL型金具形状が異なります。



Bタイプ

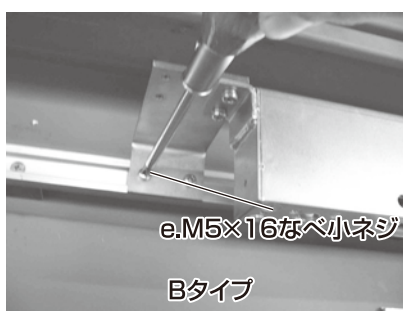
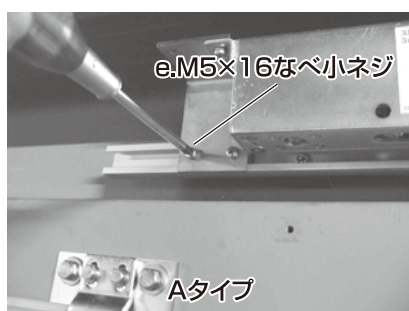
回路図のシールが正面を向くようにネジ止めする。

16. ガイドレールの中に裏板を入れる。

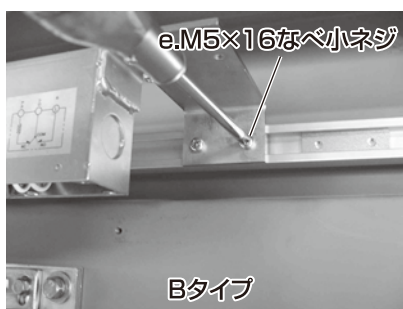
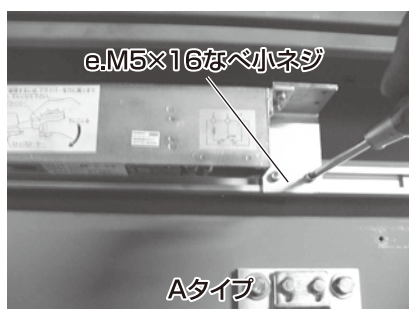


- 段付裏板を戸尻側一番端に入れ、残りの裏板を戸先側より順番に入れていく。

17. スモクローザを取付ける。

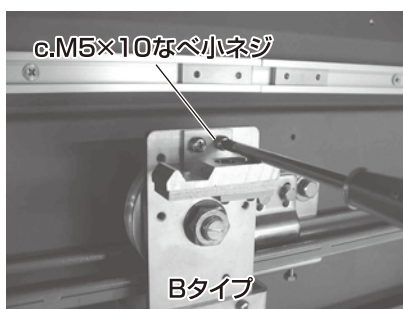
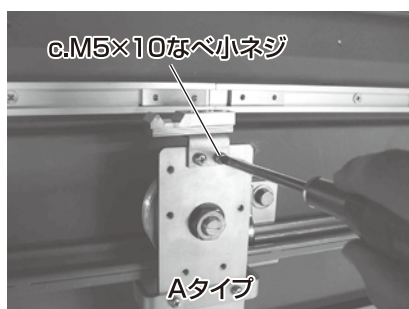


- 段付裏板にスモクローザの戸尻側を取付ける。



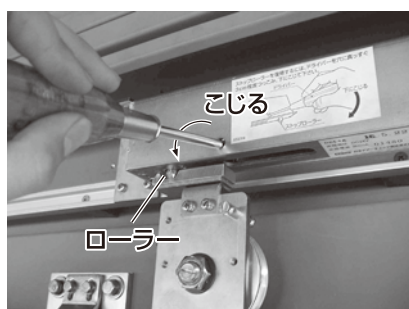
- 段付裏板の隣りにある裏板にスモクローザの戸先側をネジで仮止める。
- このネジはスモクローザがスライドする程度に仮止める。

18. 受金具を取付ける。

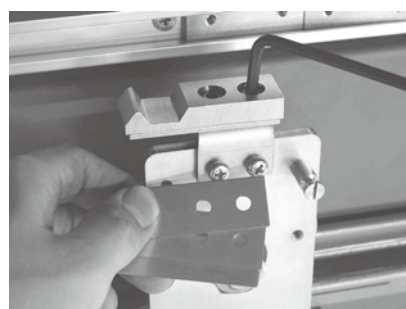


- 受金具を戸先側ハンガーへ図のように取付ける。

19. スモクローザのローラーを受金具にはめる。

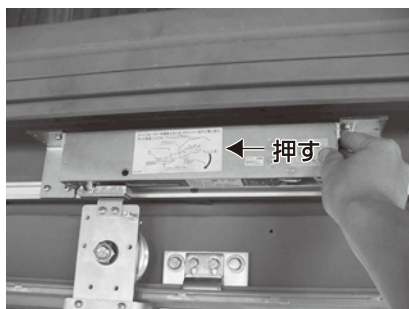


- 穴にドライバーを差し込み、下にこじるとローラーが出てきます。



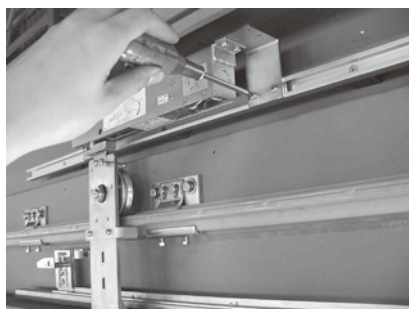
- 高さが合わないときは六角棒スパナ対辺4を使用して、調整ライナーを外す。

20. スモクローザを押して、戸先シリコンゴムの先端が開口に達するまでドアごと戸袋内に送り込む。



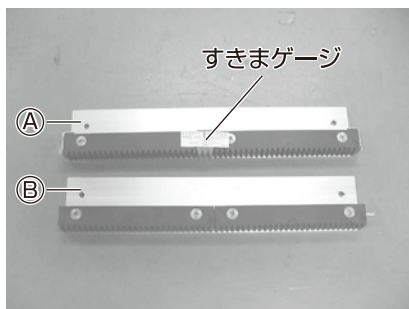
- スモクローザを仮止めした戸先側のネジをゆるめて行って下さい。

21. スモクローザの戸先側のネジを固定し、ドアの開口位置を決定する。

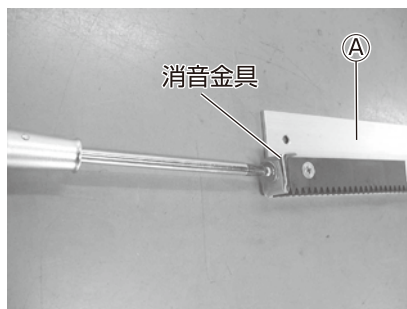


- ここでスモクローザを結線する。
(スモクローザ仕様は頁11参照)

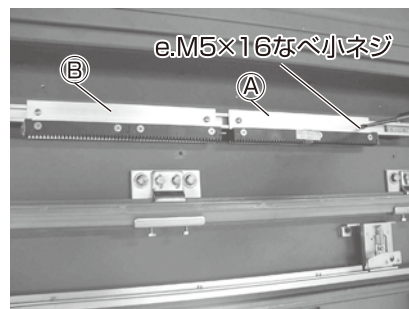
22. 制動ラック板を取付ける。(裏板を使用し、制動ラック板がスライドする程度に仮止めする。)



※ 制動ラック板⑥は開口幅により、付属する個数が異なります。



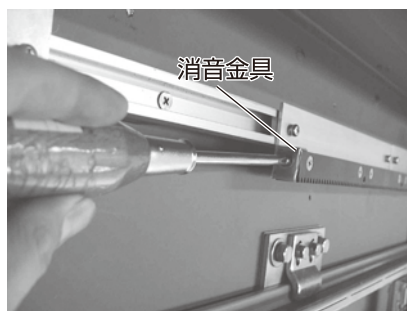
- 制動ラック板⑥が付属してある場合、連結する為にラック板④の消音金具を外す。ラック板④のみ付属の場合は外さない。



- 制動ラック板④は左右勝手に関わらず、右側に取付ける。
- 制動ラック板を全て仮止めする。

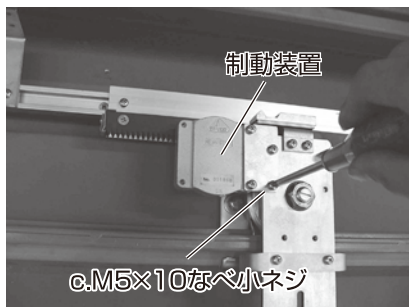


- 全ての制動ラック板を連結する。

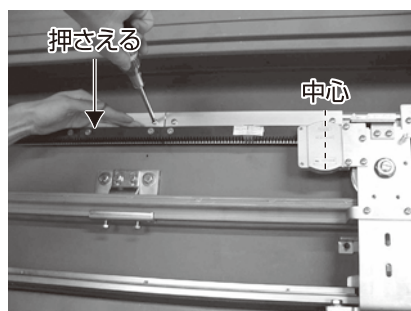


- 外した消音金具を一番左端に取付ける。

23. 制動装置を戸先側ハンガーに仮止めする。

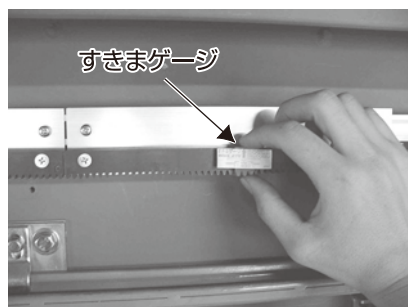
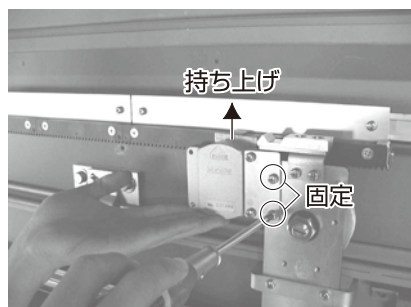


24.ドアを閉じた状態で制動装置の中心よりラックが戸先側に少し出るくらいの位置にスライドさせて、ラックを上から押さえつけながら戸尻側から順番にネジ止めする。



(注意)
ラックとラックの隙間がないようにして、ネジ止めして下さい。

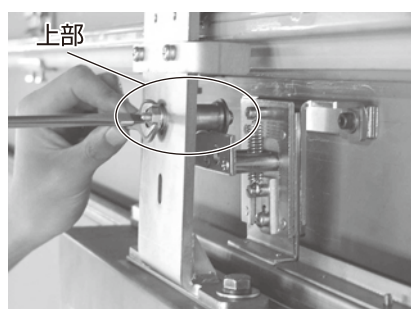
25.制動ラック板貼付のすきまゲージに制動装置を移動させ、合わせ位置を合わせた状態で、制動装置を持ち上げながらネジで固定する。



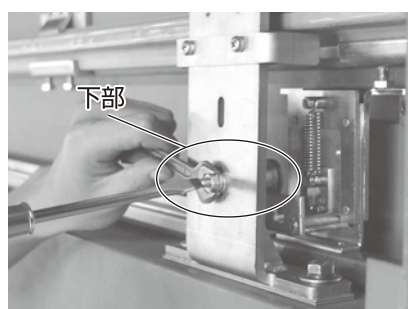
●固定後、すきまゲージを外す。

26.遮煙板ローラーを取付ける。

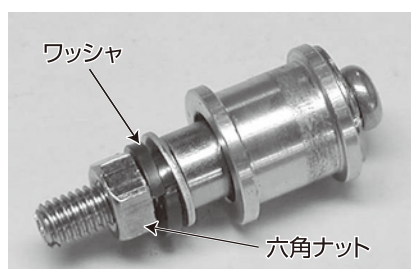
戸尻側ハンガーには上部に、戸先側ハンガーには下部に取付けて下さい。



戸尻側ハンガー



戸先側ハンガー



遮煙板ローラー

手順

- ①六角ナットとワッシャを外す。
- ②ハンガーの穴に裏側からネジ部を差し込む。
- ③ワッシャを入れて六角ナットを取付ける。
- ④六角スパナ対辺10で押さえながらマイナスドライバーで固定する。

27.駆動装置を取付ける。 ※品番により取付方法が異なります。

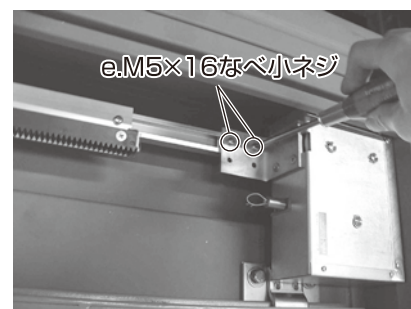


S120,200の場合



S300の場合

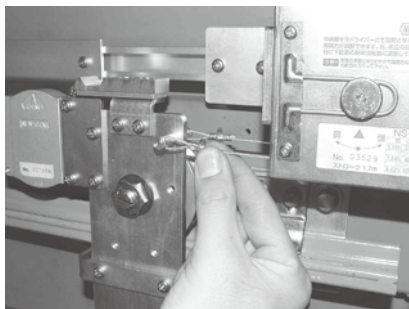
- 4ヶ所あるうち、下側2ヶ所の穴にネジを入れて取付ける。



S500の場合

- 4ヶ所あるうち、上側2ヶ所の穴にネジを入れて取付ける。

28.駆動装置のワイヤーを5.で取付けた戸先側ハンガーのばね引掛け金具に引っかける。

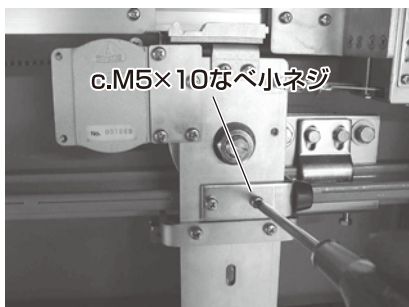


29.引くシールをEV側の扉表面に貼る。※ホール側に貼らないで下さい。

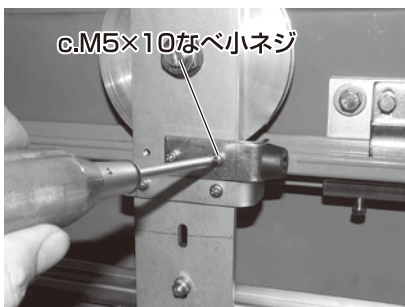


- 引分けの場合:ドア1枚の有効開口が750mm未満になる場合には貼らないこと。

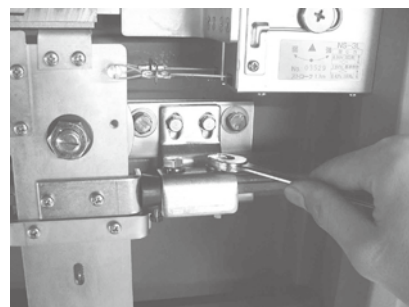
30.戸当り金具を取付ける。(引分けのみ戸先側ハンガーに取付ける。)



S120~300の場合



S500の場合



- ドアを止めたい位置に戸当り金具を取付ける。

※戸尻側の戸当り金具(オプション)は戸尻側ハンガーに取付ける。

調整方法 (本書は全て左引きで説明します。)

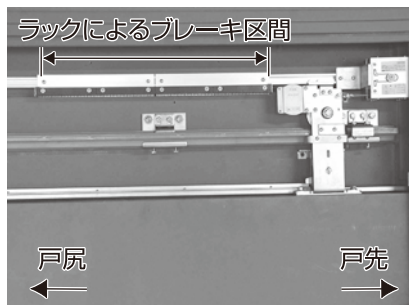
《お願い》 本機は火災時にドアを閉鎖し、ドアと遮煙ゴムで密閉させることにより煙をシャットアウトする製品です。
本機のパフォーマンスを十分に発揮させるために取付調整を行って下さい。

〔ドアが閉鎖途中で止まる場合〕

A. ドアの下部シリコンゴムの出を調整する。

- ドアの下部シリコンゴムが床に大きく押さえ付けられている場合は調整して下さい。

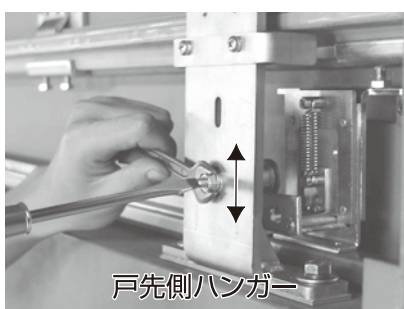
B. 制動ラック板の位置を調整する。



- ドアが閉まり際に止まってしまう場合は閉まり際にブレーキがなくなるように、制動ラック板を戸尻方向へ適度に移動させて下さい。
(閉まる勢いを利用できるようになります。)

(注意)
制動ラック板を位置決めするときは、制動ラック板を上から押さえつけながらネジ止めて下さい。

C. 遮煙板ローラーの高さを調整する。

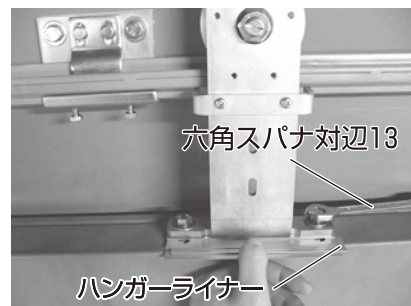
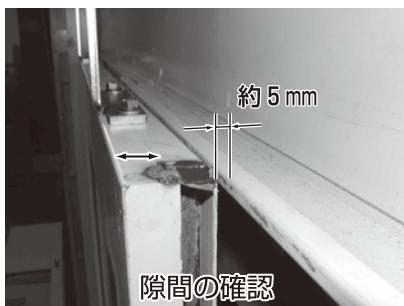
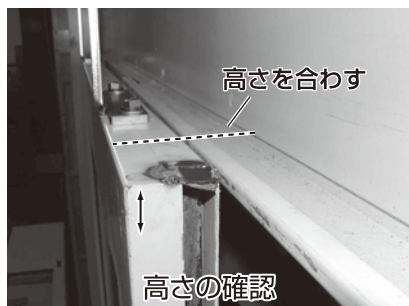


遮煙板ローラーの高さでドア閉鎖時の上部シリコンゴムの密着具合を調整できます。

- ドアが閉じきらない場合→遮煙板ローラーを少し上目に取り付けてみる。
- ドア閉鎖時に上部シリコンゴムで密着しきれずに隙間ができる。
→遮煙板ローラーを少し下目に取り付けてみる。

〔ドアが閉鎖状態で上部・下部シリコンゴム部に隙間がある場合〕

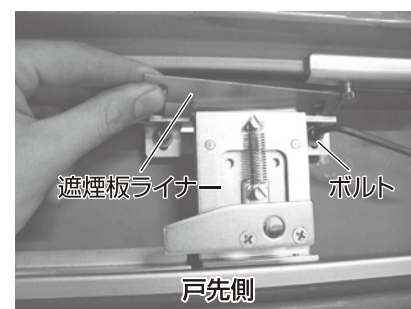
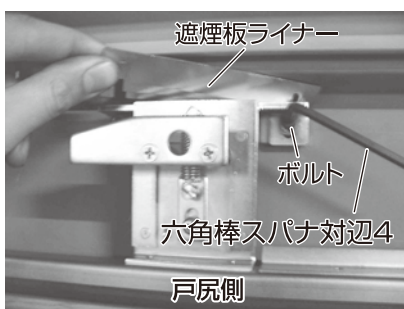
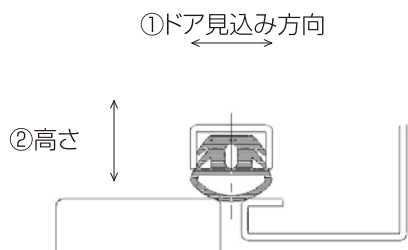
D. ドア上面と開口上枠の高さと隙間の調整をする。



- ドア閉鎖時に上部シリコンゴム部が密着するように高さと隙間の確認をして下さい。
- 高さ合わせはハンガーライナーを増減させて調整して下さい。
- 隙間調整はボルトをゆるめてドアを前後に移動させ、調整後固定して下さい。

E. 遮煙金具の高さとドア見込み方向の位置調整をする。

ドア閉鎖時の上部シリコンゴム部が密着するように調整をして下さい。



- ① ドア見込み方向はゴムの中心が合うように調整します。ボルトをゆるめて遮煙板ライナーの増減で調整して下さい。
- ② 高さはボルトをゆるめて、上下に移動させ調整後固定して下さい。

F. 遮煙板ローラーの高さを調整する。(Cと同じ調整方法)

G. ドアの下部シリコンゴム部を調整する。(Aと同じ調整方法)

スモクローザ (D-24-1A型) のリセット方法

※スモクローザのストッパーを復帰させ、再びドアを開放保持させたいときは以下のリセット方法を行って下さい。本書は全て左引きで説明します。

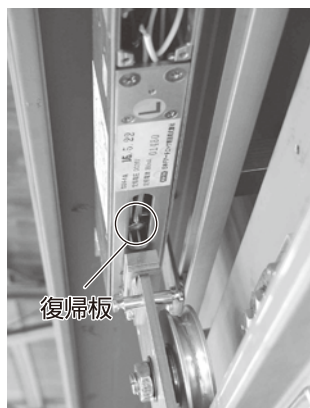
〔スモクローザの下に手が入る場合〕

●点検口を開ける場合

- ①電装システムをリセットし点検口を開ける。
- ②ドアを開放保持位置まで開く。



- ③スモクローザをリセットする。

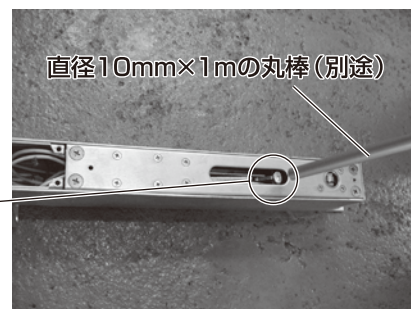
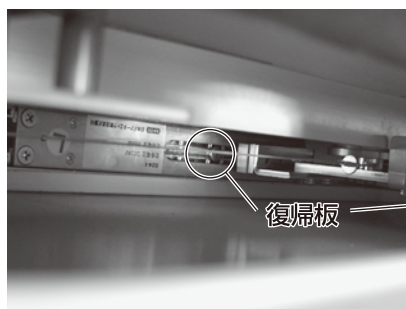


●点検口を開けない場合

- ①電装システムをリセットし、ドアを開放保持位置まで開きそのままの状態での保持をする。



- ②直径10mm×1m程度の丸棒 (別途) にてスモクローザの復帰板を押すと復帰します。



(点検口の中が暗い場合は懐中電灯で中を照らして作業を行って下さい。)

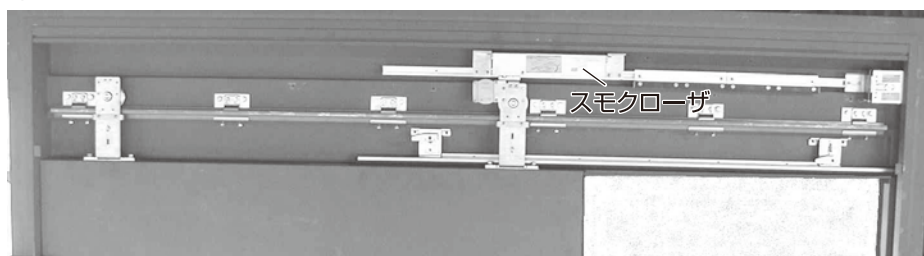
○スモクローザ (8型) 仕様

型 式	D-24-1A型
防災評定番号	BCJ-DCS(S-T)-16
動作形態	非常時通電型
定格電圧	DC24V
定格電流	266mA
使用電圧範囲	DC19.2V~DC28.8V
ドア保持力	78.4N (8型-S500の場合は98.2N)
通電時間	100msec
使用温度範囲	-10℃~+50℃
接点容量 ランプ負荷	2A
外部配線	3線式 (順次送り可能)
リード線	600V2種ビニール絶縁電線 赤・白・黄 各1本
ボックス仕上	4ヶ所打抜穴 有色クロメートメッキ仕上
復元方式	手動復帰
重 量	1.5Kg (ボックス含)
回 路	

〔スモクローザの下に手が入らない場合〕

● 枠端まで点検口が開く場合

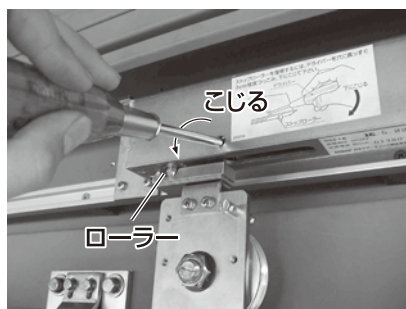
①電装システムをリセットし、点検口を開ける。



②ドアを開放保持位置まで開く。



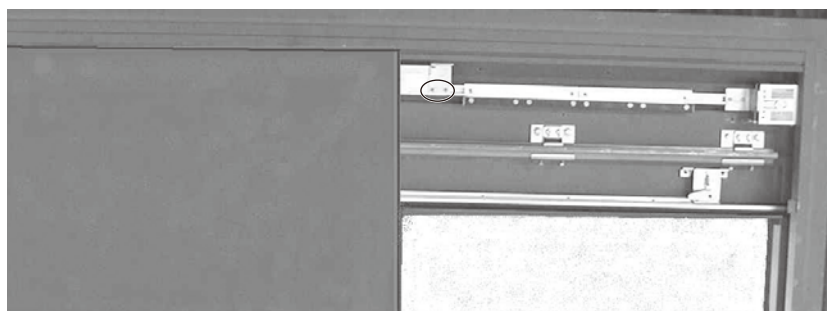
③スモクローザをリセットする。



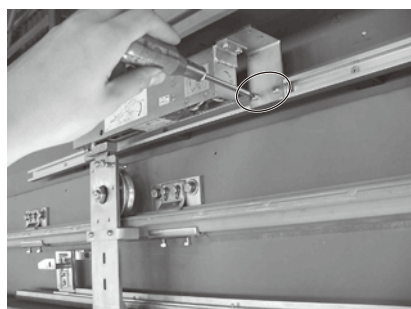
● 穴にドライバーを差し込み、下にこじるとローラーが出る。ドアが開放保持していることを確認し、点検口を閉めてリセット終了。

● 方立までしか点検口が開かない場合

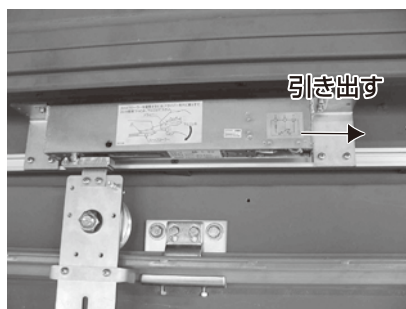
①電装系をリセットし、点検口を開け○印に止めてあるネジを確認する。



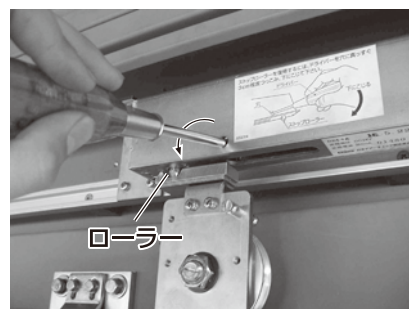
②2個のネジをゆるめる。



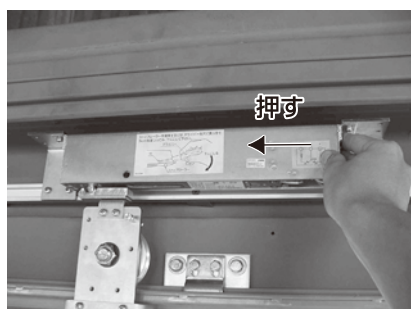
③スモクローザを引き出す。



④スモクローザをリセットする。



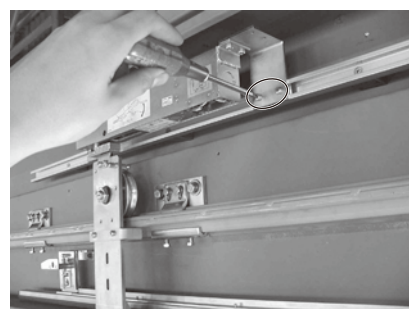
⑤スモクローザを押す。



⑥ドアごと戸袋内に送り込む。



⑦2個のネジを締める。



● 戸先側ハンガーに付いてある受金具にローラーを引っ掛け、スモクローザを押す。

● 戸先ゴムの先端が開口に達するまで送り込む。

● ドアの開口位置を決定。点検口を閉めてリセット終了。

注意事項等

1. 8 型の機能説明とお願い

- 1) この商品は火災時にドアを閉鎖し、ドアと遮煙ゴムで密閉させることにより煙をシャットアウトする製品です。
- 2) ドアが閉鎖する床面には物を置かないで下さい。
- 3) 8 型は分解、改造しないで下さい。

2. お手入れ方法

ドアが閉鎖する床面はチリ、ごみ等がない様にして下さい。

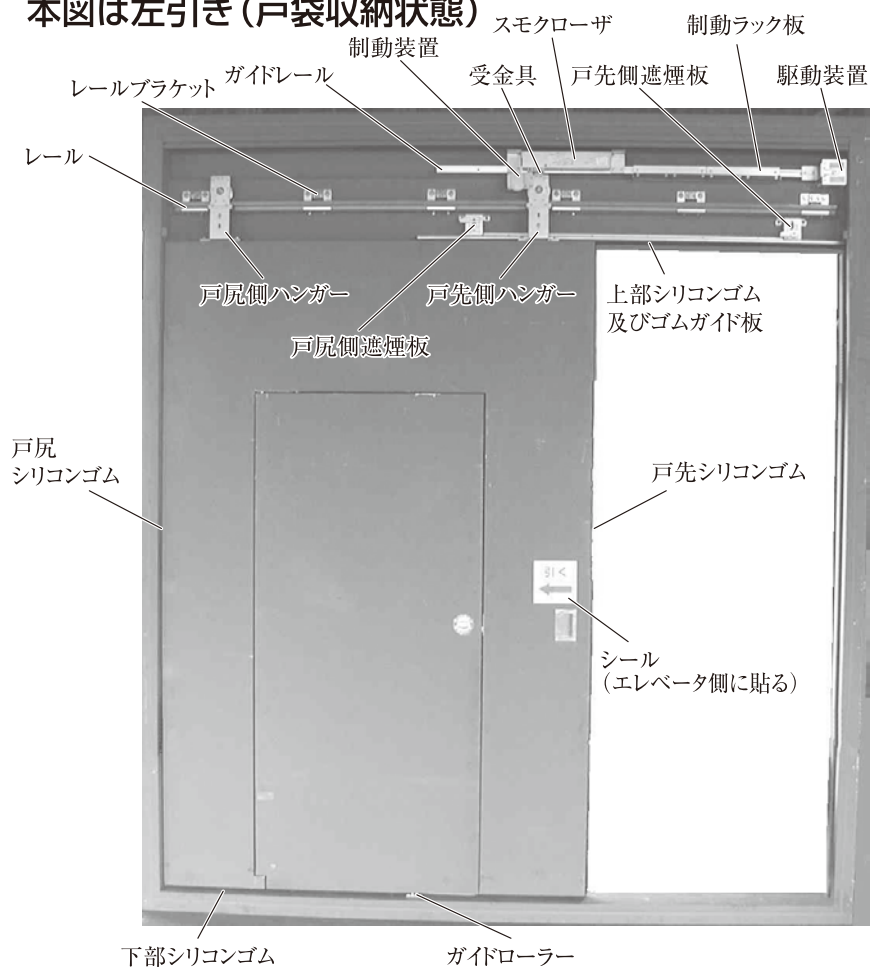
3. 異常を感じられた際の対処方法（下記の対処方法を行っても不具合がある場合は、当社にお問い合わせ下さい）

カタログと工事図面のとおりに施工されているか確認して下さい。問題がなければ下記の対処方法を行って下さい。

現 象	考えられる原因	点検箇所	対 処 方 法
ドアが戸袋から全く動かない場合	スモクローザが作動していない	電気仕様の確認	スモクローザ (D-24-1A型)仕様を確認 (詳細は 頁11 参照)
	駆動装置がハンガーに接続されていない	点検口内	駆動装置のワイヤーをハンガーに引掛ける
ドアが完全に閉まらない場合	下部シリコンゴムが床の異物に接触している	床 面	異物を除去する
	下部シリコンゴムが床に大きく押さえ付けられている		ドアの下部シリコンゴムを調整する (詳細は 頁10-A参照)
	制動が効き過ぎている	点検口内	制動ラック板の位置を調整する (詳細は 頁10-B参照)
	上部シリコンゴムの押えが強い		遮煙板ローラーの高さを調整する (詳細は 頁10-C参照)
ドアが閉鎖状態で上部シリコンゴム部に隙間がある場合	ドアと枠の歪み又は取付位置が合っていない	点検口内	ドア上面及び開口上枠の高さと隙間の調整をする (詳細は 頁10-D参照)
	ローラーが高い位置に取付けてある		遮煙金具の高さとドア見込み方向の位置調整をする (詳細は 頁10-E参照)
ドアが閉鎖状態で下部シリコンゴム部に隙間がある場合	上部シリコンゴム部の調整により隙間がでる	床 面	遮煙板ローラーの高さを調整する (詳細は 頁10-F 参照)
	スモクローザがリセットされていない	点検口内	スモクローザをリセットする (詳細は 頁11 参照)

■片引きドア

本図は左引き（戸袋収納状態）



※この説明書に掲載されている内容は、予告無く変更することがあります。



日本ドアーチエック製造株式会社

東京本社 / 〒110-0012 東京都台東区竜泉一丁目27番9号 TEL (03) 3871-1411 (代)
(ニュースター東京ビル)

大阪本社 / 〒544-0014 大阪市生野区巽東三丁目17番10号 TEL (06) 6758-1251 (代)

札幌支店 / TEL (011) 851-8255～6

北陸支店 / TEL (076) 243-2120 (代)

名古屋支店 / TEL (052) 981-7531～2

福岡支店 / TEL (092) 271-5491 (代)

仙台営業所 / TEL (022) 284-7501

静岡営業所 / TEL (054) 238-2751

広島営業所 / TEL (082) 877-1611～2

高松営業所 / TEL (087) 843-1212～3